

町民一日議会での発言を受けて

(令和5年2月)

奥出雲町議会

議長 藤原 充博

町民一日議会でのご発言、誠にありがとうございました。

総務経済常任委員会または教育福祉常任委員会にて協議した内容を
広報公聴常任委員会にて取りまとめた結果を以下の通り報告します。

山砥 白優さん

テーマ	奥出雲町を有名にしよう！
発言要旨	奥出雲町の魅力として食材、景観、文化を具体的に挙げ、その魅力をもっと広めたいという思いから、「ゆるキャラの活用」を提案いただきました。他地域の成功例から、ゆるキャラのSNS発信や行事参加など、活動を増やすことが必要とし、横田高校生が引き継ぎながら運営するSNSの発信を提案していただきました。
議会での協議結果	<ul style="list-style-type: none">ゆるキャラの登場機会を増やし、認知度アップに向けて、議会としても行政、観光協会、商工会等へ働きかけていきます。SNSの発信方法は、横田高校、教育委員会、行政関係各課等と連携して検討するよう働きかけていきます。

池田 幹雄さん

テーマ	住み続けたい三成の郷を目指して
発言要旨	三成の小さな拠点活動から、生活交通の確保は喫緊の課題であるにもかかわらず、地域内だけでは解決できない障壁があると感じ、町行政へ具体的な要望と提案をいただきました。
議会での協議結果	12月議会において、一般質問を行い町の対応が次の通りありました。 (答弁内容) <ul style="list-style-type: none">高齢者の外出支援には、介護認定が必要なため雲南広域連合へも情報提供し検討を働きかける。また、小さな拠点づくりの中でも関係課を通じて対策を検討する。誰でも利用できる町運営の有償運送については、制度面での課題を検証する。公共交通計画の策定については、住民も参加する方向で提言したい。

坪倉 昌宏さん

テーマ	若者のコミュニティと高齢者のコミュニティが共生し、雇用を生む町づくり
発言要旨	高齢化率増加や利用者の重度化が進む一方で、介護職の収入は、他地域より低い水準にある。若い資格者が就職できるよう、例えば、住居費の支援等、町独自の優遇策を打ち出すことができないかとの提案をいただきました。
議会での協議結果	<ul style="list-style-type: none">若い人への住居費等の支援の必要性について具体的施策を議会として見出し、町へ提案していきます。

西田 翔さん

テーマ	子どもへのコロナ感染症対策、マスク着用等について再考する
発言要旨	新型コロナウイルス感染症は、子どもにとって重症化率・死亡リスクともに低い感染症であるが、過剰な感染症対策が取られている現状を危惧している。 奥出雲町の小・中・高校生、全国の子ども達から151件のアンケート回答を集めそれをもとに子どもへの感染症対策やマスク着用等について、考え直す必要があるのではないかととの提案をいただきました。
議会での協議結果	・町内でのマスク着用は、世間の目がありなかなか外せていないのが実情ではないかと思えます。外してもよい場面でのマスク着用については、指導があっても良いのではないかと考えますので、今後保健所の指導に従い、教育委員会に対して学校指導を求めていきます。現在政府において、感染症対策の見直しが検討されており、改善されると思えます。

阿部 泰夫さん

テーマ	Uターン移住者の促進による人口減少抑制
発言要旨	奥出雲町の移住者支援策は多岐に亘っているが、他の自治体との違いが鮮明にされておらず、若者への策に乏しいので、将来世代への制度拡充が必要。移住者として不満に感じたことから具体的な改善案を多く提案していただきました。
議会での協議結果	・若者の働き場、住環境の整備、子育て環境の整備、医療、福祉、教育環境の充実について、引き続き提案していきます。 ・Uターンの皆様、移住を希望されている方々、在住者の皆様から意見をお聴きする場を設定するよう議会として検討します。

福田 光さん

テーマ	Instagramを使って関係人口を増やそう
発言要旨	Uターン促進が諸課題の解決のカギになると考え、町内在住者が町の魅力を再発見すること、奥出雲町を知らない人にその魅力に気付いてもらうことが必要。それをめざして奥出雲町の魅力をInstagramで発信するよう提案していただきました。
議会での協議結果	・SNSを利用した情報発信は有効な手法だと思いますので、議会も推奨していきます。 ・現在の取組みに加え、若い方や外部の方の視点をもっと取り入れるよう、行政に働きかけます。

松島 昭夫さん

テーマ	魅力ある地域をつくること
発言要旨	もっと議員は地域に出て住民の意見を聴く機会を増やすべきだとの提言をいただきました。
議会での協議結果	・住民の皆様の意見を聴く機会を多く持つ必要性を強く感じています。今後、どのような形で意見を伺う機会を設けるか、議員全員でしっかり話し合い実施してまいります。今回の町民一日議会もその機会の一つです。今後とも取り組んで参ります。

高木 結唯さん

テーマ	夏祭りの伝統を引き継ぐために
発言要旨	「伝統を引き継ぐことは大切なのか」、という視点からそのメリットを考え、引き継いでいくための課題と解決法を考察。伝統を継承する方法の考察の中で、変えずに継承する場合と実情に合わせて変える場合の両方があるとし、住民の入れ替わりがある中でも協働して行っていくことが必要であるとの提言をいただきました。
議会での協議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りは、地域の活性化にもつながります。継続には子供のころから祭りへ興味を持つことが大事であると思いますので、園児、児童、生徒に祭りへの参加を、地域と連携して、議員一人一人が働きかけます。 ・伝統文化継承については、行政支援の方法を議会にて検討していきます。

横田高校吹奏楽部さん

テーマ	音楽をもっと身近に
発言要旨	施設や駅・お店など町民が音楽に触れる機会をもっと増やしたい。また、ジョーホー奥出雲でも演奏会の曲を流してほしいとの提案をいただきました。
議会での協議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョーホー奥出雲での定期的な発表は、番組編成の方向で動き出しています。 ・小中学校の部活動支援は継続し、横田高校の支援強化を町へ要望していきます。

眞綿 音和さん

テーマ	奥出雲の医療・福祉について
発言要旨	島根未来共創チャレンジで取り組む「持続可能な医療・地域交流型福祉を実現しようプロジェクト」において感じた「高齢者福祉施設が抱える問題について」、アンケート結果をもとに、高齢化の進む奥出雲町の実情に合わせた取り組みが必要であるとし、具体的な提案をしていただきました。
議会での協議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が交流できる場所や機会の提供は、行政の重要な責務であります。また、介護を安心して受けられるよう、情報提供や財政支援について、議会として行政に働きかけていきます。

古藤 快さん

テーマ	地域リハビリテーションサークル「にたまご」の活動内容 奥出雲町の健康に寄与するために
発言要旨	奥出雲町の健康に寄与することを目的に、地域高齢者の方々が運動できる場として旧高田小学校にスポーツジムの設立をするにあたり、機器を買う資金を集めるためにクラウドファンディングを始めたとの紹介がありました。
議会での協議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・町民一日議会での発言により、活動の一部を町民の皆様に理解してもらえたのではないかと思います。 ・議会としても、リハビリテーション学院での自主的活動を支援し、町全体の福祉行政の取り組みを進めるよう要請していきます。